

在宅看護論Ⅱ 授業⑥

～排泄への援助～



福岡水巻看護助産学校
1年生

1. 排泄の自立とは？

人間としての

障害され
ると...

精神的負担
葛藤

自己概念 変容
低下

意欲 低下
低下

家族にとっても排泄の世話は・・・

家族の状態が

大きな負担

身体的負担
(　　　な介護、
時に 　　　も)

排泄介助に
排泄物に関する

の低下
低下

2. 排泄援助について考えよう！

移動のための
の車椅子



手すり

適切な
介助

介助できる
スペース

着脱を考慮した
衣服

入院中の排泄

各プロセス	特 徴
環境	<ul style="list-style-type: none">▪ 共用トイレ(病室から移動の必要あり)▪ 重症者やADL低下者は自室でPトイレや尿器使用、()ない時はおむつ▪ ()困難な場合は車いす用トイレ <u>手すり、介助スペースあり。</u>
介助者	<ul style="list-style-type: none">▪ 看護師▪ 看護助手(尿器・Pトイレ交換)

在宅療養での排泄

各プロセス	特徴
環境	<ul style="list-style-type: none">▪ 自宅トイレ <u>手すり、介助スペースはないことが多い。</u>▪ 施設入居者はバリアフリーの環境だが、 自室内にトイレがあるかは施設による。
介助者	<ul style="list-style-type: none">▪ 主に()が介助、 介助方法は指導を受けて習得する。 負担が大きい。 (<u> </u>)の介助は介護疲労につながる。▪ 家族が後片付けや掃除 排泄物汚染が頻回になると負担が大きい。

3. 排泄をアセスメントする

1) 排泄の障害と要因

2) 排泄()

3) ()力

4) 排泄に関する

問題や()

5) 活用できる

社会資源



1) 排泄の障害と要因

○排泄状況

排尿・排便回数と性状

疾患や障害との関連

治療や服薬との関連

○排泄への思い

健康維持の観点からの考え

() 観念からの考え

介助への気兼ねや()

○排泄()や()・移動の障害

2) 排泄環境のアセスメント



介助可能な() ()の設置

◎トイレまでの()が安全かも大切！

最近は様々な尿器が・・・

(テキストP.199参照)

尿器・・・男性用尿器で寝たまま排尿でき、
ベット下に排尿ボトルを置く。
数回分は畜尿可能。
夜間尿に便利

器・・・男性用排泄用具
装具をつけて畜尿袋に接続する。
()
電動式あり。
()利用可

レッグパック(下腿に装着する蓄尿袋)



* テキストP.199にイラストあり

3) 介護力のアセスメント

- 介護者の()、性別
- ()や体調
- 介助方法の知識、技術
- ()力
- ()経験

最近、腰が
痛くて...

子供と孫のおむつ
変えたのよ。



○ 介護に対する思いや考え

○ 家庭や社会での()

お母さんの世話は
してあげたい
けど..

仕事も
あるし...



4) 排泄方法のアセスメント

- () の有無
- 排泄動作の自立状況
- 移乗動作の自立状況
- 排泄への ()
- 家族の ()
- 排泄環境の
改善状況

無理におむつに
しなくてもいいのね...



様々な排泄方法

トイレでの
排泄



ポータブルトイレ



おむつ



ベッド上で尿器

4) 排泄でのリスク

○ 移乗や移動での()

どっころしょ!



こんなことも！トイレで転倒



訪問したヘルパーさんが発見！

便利なものもあります！



()システム (* ペンダントタイプもあり)
()の貸し出しや()保険活用

○いきむことによる

体調異常 ⇒ ()上昇や
()困難

どのような疾患で起こりますか？

どう予防したら良いですか？

○()、下痢・・・()と相談、
薬剤使用もあり。

○失禁状況と対策

おむつの当て方、種類

トイレ誘導の時間帯

移乗・移動にかかる時間

} 見直しと工夫

失禁は排泄介助を受けると同じか、それ以上に自尊心が傷つくことがあるので注意！

認知症療養者では隠そうとすることも・・・

食事や飲水の時間との関連も考える。

○介護者の疲労・ストレス、生活への影響

おむつ交換で
腰が痛い……

気になって
出かけられない



介護疲労によって起こることは？
それを防ぐには？

5) 活用できる社会資源

どのようなサービスが活用できますか？

ポータブルトイレや
尿器を買うには？

トイレに手すりをつけたいが・・・？



自己負担は？費用の上限は？

どのようなサービスが活用できますか？

誰かおむつ交換を
手伝って！

夜のおむつ交換が
特に大変で・・・。



まずは介護保険サービスを抑えよう！
次は？

3. 在宅での排泄援助の基本

- 1) ()を促す工夫
排泄()の整備
排泄障害への援助
()への対策と配慮
- 2) 家族(介護者)へのケア
- 3) リスクマネジメント
排泄障害の悪化防止
()防止
- 4) ()の活用

高齢者だけではない排泄問題

脊髄損傷で下半身麻痺のAさん
長いリハビリを終え、無事退院し
ました。もう一度仕事に復帰した
いと思っています。

Aさんの排泄問題とは？
脊髄損傷によって起こるのは、
両下肢の麻痺だけでは
ありませんよ。



脊髄損傷は四肢麻痺以外にも 問題(後遺症)が...

運動麻痺以外
にも問題あり!

神経の障害で
尿意・便意が
感じにくい。

どうやって
尿を出す?

排便は
どうする?

